

病害虫発生予察予報第5号（8月の大豆の予報）

佐賀県

目次

1. 8月の大豆の病害虫	1
2. 8月の予報	2
普通作物（大豆）	2

1. 8月の大豆の病害虫



ハスモンヨトウ（①若齢幼虫の集団，②白変葉〈若齢幼虫の集団による食害〉，③中-老齢幼虫）
（平成22年撮影）



④ イチモンジカメムシ



⑤ ミナミアオカメムシ

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840 - 2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

【概要】

作物名	病害虫名	発 生 量		病害虫防除のてびきの記載ページ	備 考
		平年比	前年比		
大 豆	ハスモンヨトウ	やや多	多	218～219, 224～226	
	カメムシ類	やや多	やや多	220, 226～228	

【特記事項】

1. 各地域で白変葉（ハスモンヨトウ若齢幼虫の集団による被害）の発生状況を確認し、適期防除を行う。

大豆

（巡回調査日：8月3～6日）



巡回調査時の生育状況

1. ハスモンヨトウ

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多い（前年より多い）

2) 予報の根拠

- (1)巡回調査では、寄生株率0.5%（平年0.5%、前年0%）であり、平年並で前年よりやや多い。一部の圃場において白変葉の発生がみられている（図1）。〈±〉
- (2)8月2半旬のフェロモントラップでの誘殺数は平年よりやや多い（図2）。〈±～+〉
- (3)福岡管区気象台が8月15日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、やや多発生の条件となっている。〈±～+〉（気温やや高：±～+）

3) 防除上注意すべき事項

- (1)上位葉に白変葉（若齢幼虫の集団による被害）が出現し始めた時に第1回目の防除を行う。
- (2)各地域におけるフェロモントラップでの誘殺状況や[農業技術防除センターの誘殺情報（ホームページ）](#)に十分留意するとともに、圃場を見回り、大豆での白変葉の発生状況を確認する。
- (3)防除に当たっては、薬剤が茎葉にまんべんなく付着するように規定の範囲で十分量を散布する。

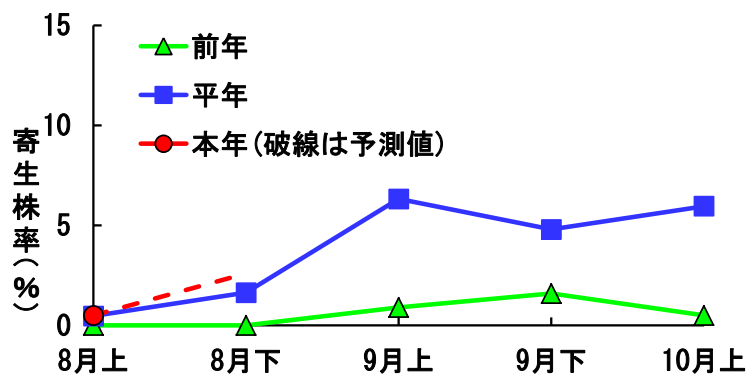


図1 大豆におけるハスモンヨトウの発生推移

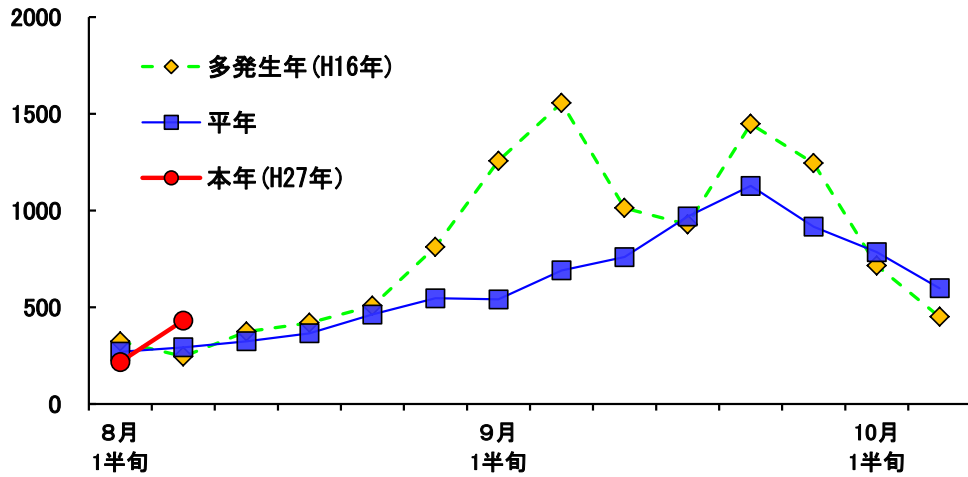


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウの半旬別誘殺数（10月2半旬まで）
（農業共済組合、農業試験研究センター、農業技術防除センターによる県内9地点の平均誘殺数。ただし、年によっては、8月2半旬頃から調査開始の地点がある。）

2. カメムシ類（アオサカメシ、イモシジカメシ、ホリホリカメシ、ミナミアオカメシ等）

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多い（前年よりやや多い）

2) 予報の根拠

- (1) 巡回調査では、発生を認めていない（寄生株率：平年0.1%、前年0%）（図3）。〈±〉
- (2) 福岡管区気象台が8月15日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、やや多発生の条件となっている。〈±~+〉（気温やや高：±~+）

3) 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の防除に効果的な莢の伸長初期から種子肥大中期に向け、圃場での発生状況を確認する。

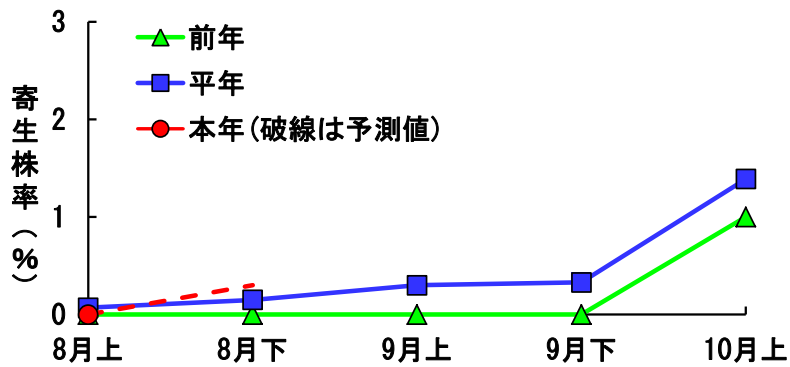


図3 大豆におけるカメムシ類の発生推移